



町長室だより

築上町長 新川 久三

春爛漫の季節となり、山々の木々も

若葉が息吹きだしました。また町内の各自治会では神幸祭を迎える準備で多忙のことと存じます。

旧藏内邸一般公開始まる

本町が国登録有形文化財、県指定有形文化財である旧藏内邸の保存を目的に、購入検討していることを西日本新聞が第1面のトップ見出しで掲載したところ、この記事をご覧になった旧三洋信販社長の椎木正和氏（福岡市在住）から町に購入資金の寄附の申し出があり、寄附をいただくことになりました。そして、土地建物所有者の山路英彦さんから買取しました。ようやく一般公開にこぎつくことができ、4月18日から公開しています。山路さんには旧藏内邸取得以来、40年間に及び良好な管理をいただきたきありがとうございました。

椎木さん、山路さんにはお礼の意味をこめて感謝状の贈呈をさせていただきました。



きました。

旧藏内邸は築上町の宝であり、文化財として大事に後世に伝えていきます。またこの旧藏内邸を地域振興の拠点にしながら観光、農産物、農産加工の販売促進に役立つように町観光協会、J A京築、物産館メタセの杜等々と連携してまいります。町民の皆様においてもご理解応援をよろしく願います。なお入場料は一般一人300円となっています。ただし7歳以上の方、障がい者手帳所持者とその引率者、本町の町立学校の校外学習の場合は入場料無料となっています。

二人の若者築上町に移住

緑のふるさと協力隊9代目に桃井侯樹（もものい こうき）君が着任しました。彼は仙台市出身で山形大学2年次を終了し、3年次目を休学してNPO法人地球緑化センターの隊員募集を知り、応募で採用され築上町に配属されました。

応募の契機は仙台市が東日本大震災で被災した際、自宅は高台にあり難を逃れたが、津波被害の後片付けをボランティア活動で行ない、自然の大切さと地球緑化センターの派遣事業に共感を覚え、大学を休学してでも他の地域での活動体験をしたいとの思いで築上町に着任をしたとのこと。町民の皆様、彼を見かけたときは激励の声をかけてあげてください。

もう一人の移住者は、佐賀県小城市の太田美加さんです。太田さんは、農事組合法人湊宮農組合へ就職しました。太田さんは佐賀大学を今春卒業し、農業を行うことになりました。太田さんの契機は佐賀大学在学中に築上町の液肥の研究をするため、田中教授と何度となく本町を訪れ、本町の農業に興味を持ち、し尿を利用した循環型自然生態系農業を行うことと、組織型営農組合に共感し、湊宮農組合に就職を決意したそうです。

お二人とも築上町の農業の勉強を一生懸命していただき、できれば築上町に定着していただくことになれば幸いです。頑張ってください。それでは町民の皆様には健康に留意し、ご自愛のほどお願いします。

築城基地周辺財産利用計画の報告について

3月25日、築城基地周辺財産利用計画について築城基地周辺財産利用検討委員会（委員長 吉元成一氏 計11名）から町長に報告されました。委員会では、1年にわたり、滑走路延長上にある築城基地周辺財産の有効利用について審議を行ってきました。

計画は、現況の土地利用状況を考慮し、既存施設を活かしたものとなっており、計画地の中心となる「メタセの杜」を拠点とした地域の物産や産業を活用した観光推進ゾーンと「築城グラウンド」や「パークゴルフ場」を拠点としたスポーツや屋外レクリエーションを推進するゾーンを設定し、そのエリア内の整備を推進するとしています。

また、音無川的环境整備など景観の向上についても計画書に盛り込まれています。

*計画書は企画振興課にて閲覧できます。

問い合わせ

企画振興課 基地対策係
(内線 361)

